

宮本 万理子（主任研究員）

●研究・専門分野

都市政策／住宅政策／地方創生

●注力テーマ

シングルや高齢ひとり暮らしの住宅事情、住宅・土地相続、空き家問題、コンパクトシティ、震災時の住宅再建、ビッグデータを活用した不動産市場の動向調査、観光振興、環境政策を通じた地方創生

●資格

環境学博士（東京大学）

●経歴

<学歴>

2012年3月 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 博士課程 修了

2007年3月 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 修士課程 修了

2005年3月 慶應義塾大学 環境情報学部 卒業

1999年8月 Martin Luther High School (U.S.A) 卒業

<職歴>

2025年～現在 SOMPO インスティテュート・プラス株式会社
公共政策調査部 主任研究員

2024年～2025年 同社 企画・公共政策グループ 主任研究員

2022年～2024年 同社 企画・公共政策グループ 副主任研究員

2018年～2022年 建設系コンサルタント2社

2014年～2017年 神戸芸術工科大学 デザイン学部 環境デザイン学科 助教

2012年～2014年 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 特任研究員

<非常勤講師など>

- ・ 埼玉大学 教育学部 見沼フィールドスタディーズ A
- ・ 大阪商業大学 公共学部 都市計画
- ・ 東洋大学 国際観光学部 国際観光学研究Ⅱ
- ・ 東京女子大学 経済経営学科 サステナビリティと社会の諸課題

●活動実績

<論文、寄稿等>

- ・ Miyamoto, M., Okada, Y., Ikebe, K., 「Impact of Increasing Number of Smaller Households on Emergence of Vacant Houses -Beyond the Compact City-」、Reports of the City Planning Institute of Japan, No. 23, 11-18, 2024
- ・ 宮本万理子、岡田豊、「地方都市における都市の縮退とコンパクトシティ、アフターコロナを見据えて」、『都市計画報告集』、22号、1刷、34-40、2023
- ・ 宮本万理子、岡田豊、「「単独世帯」の動向から見た空き家対策」、『都市計画報告集』、22号、2刷、217-222、2023
- ・ 宮本万理子、山本浩二、「不動産ビッグデータを活用した空き家の特定業務」、『都市計画コンサルタント協会、実務家発表会』、2024
- ・ 宮本万理子、山本浩司、「相続不動産の共有者数から見た空き家の発生要因」、『東京大学空間情報科学研究センター、CSIS DAYS 2024』、2024
- ・ 信濃毎日新聞・多思彩々「世帯小規模化、増える空き家」、2023年12月10日
- ・ 信濃毎日新聞社・多思彩々「「管理不全空き家」特定が鍵」、2024年6月2日
- ・ 住宅新報「不動産登記の義務化は空き家問題の解決につながるか」、『【特集】不動産流通特集』、2025年2月11日

<受賞等>・月刊東洋経済シンクタンク厳選レポート「予防対策重視の法改正への対応を、新技術で

空き家化を防げ」

- ・ 都市計画学会優秀賞「不動産ビッグデータを活用した、空き家特定業務」

<外部役職等>

中央大学研究開発機構 客員研究員

<その他の活動実績>

■所属学会

日本都市計画学会／日本不動産学会／日本建築学会／日本造園学会

■共同研究

- ・ 東洋大学、国際観光学部、武正憲研究室「世界自然遺産小笠原の観光ガイドによる経済的便益確保と環境保全に関する研究」
- ・ TRUSTART 社「不動産ビッグデータを活用した共同研究」

■受託研究

- ・国土技術政策総合研究所「道路緑化の定量的な機能評価に関する調査業務」（優良業務受賞対象業務）
- ・国土技術政策総合研究所「無電柱化の施行のスピードアップ等に関する調査整理業務」（局長賞受賞対象業務）

（詳細）

Researchmap : <https://researchmap.jp/read0142659>